

令和7年12月8日23時15分頃の青森県東方沖の地震について
(第3報)

令和7年12月8日23時15分頃に発生した青森県東方沖を震源とする地震について、地震に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先 地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	12月 8 日23時15分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	12月 8 日23時15分
マグニチュード	7.5（暫定値；速報値の7.6から更新）
発生場所	青森県東方沖（八戸の東北東80km付近） 深さ 54km（暫定値；速報値 深さ約50kmから更新）
発震機構	西北西―東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
震度	【最大震度 6 強】青森県の八戸市(はちのへし)で震度 6 強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度 6 弱～ 1 を観測
長周期地震動の観測状況	青森県三八上北で長周期地震動階級3を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

（防災上の留意事項）

- 揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

（今後の地震活動の見通し）

- この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度6強程度の地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

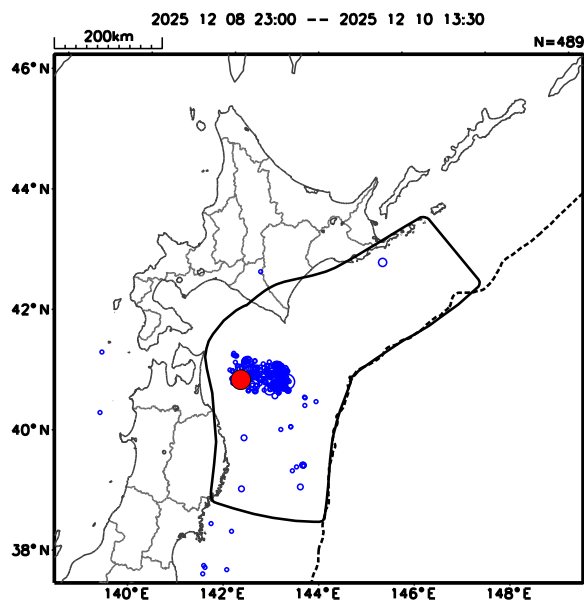
（北海道・三陸沖後発地震注意情報について）

- 今回の地震の発生により、気象庁は12月9日02時00分に北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表しました。政府では、防災対応をとるべき地域に対して、地震発生から1週間、「特別な備え」及び「日頃からの地震への備えの再確認」を実施するよう呼びかけています。引き続き、政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

今回の地震活動

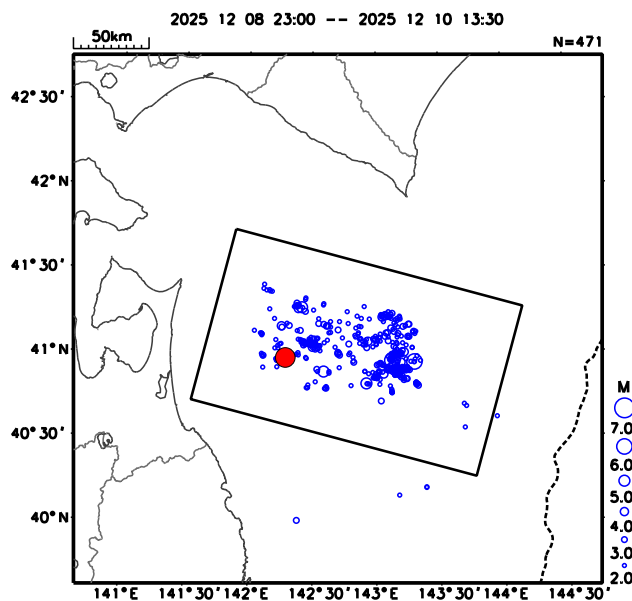
震央分布図（広域図）

深さ0 ~ 100 km M ≥ 2.0

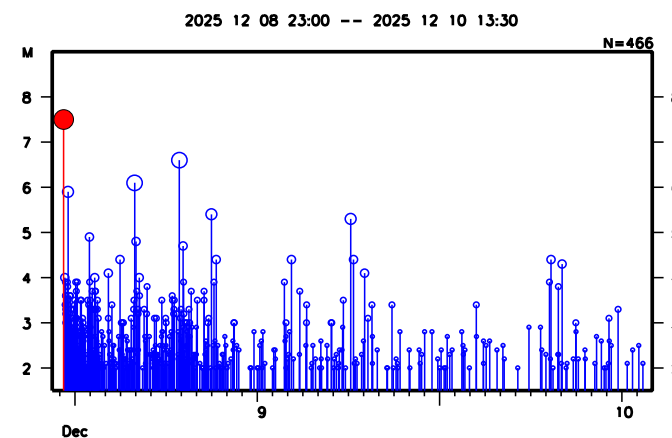


震央分布図（詳細図）

深さ0 ~ 100 km M ≥ 2.0



左図中の矩形領域内の地震活動経過図



（震源の色について）赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震

- ・震央分布図中の点線は、海溝軸を示す
- ・震央分布図（広域図）の中の黒色の太線は、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域を示す

<資料の利用上の留意点>

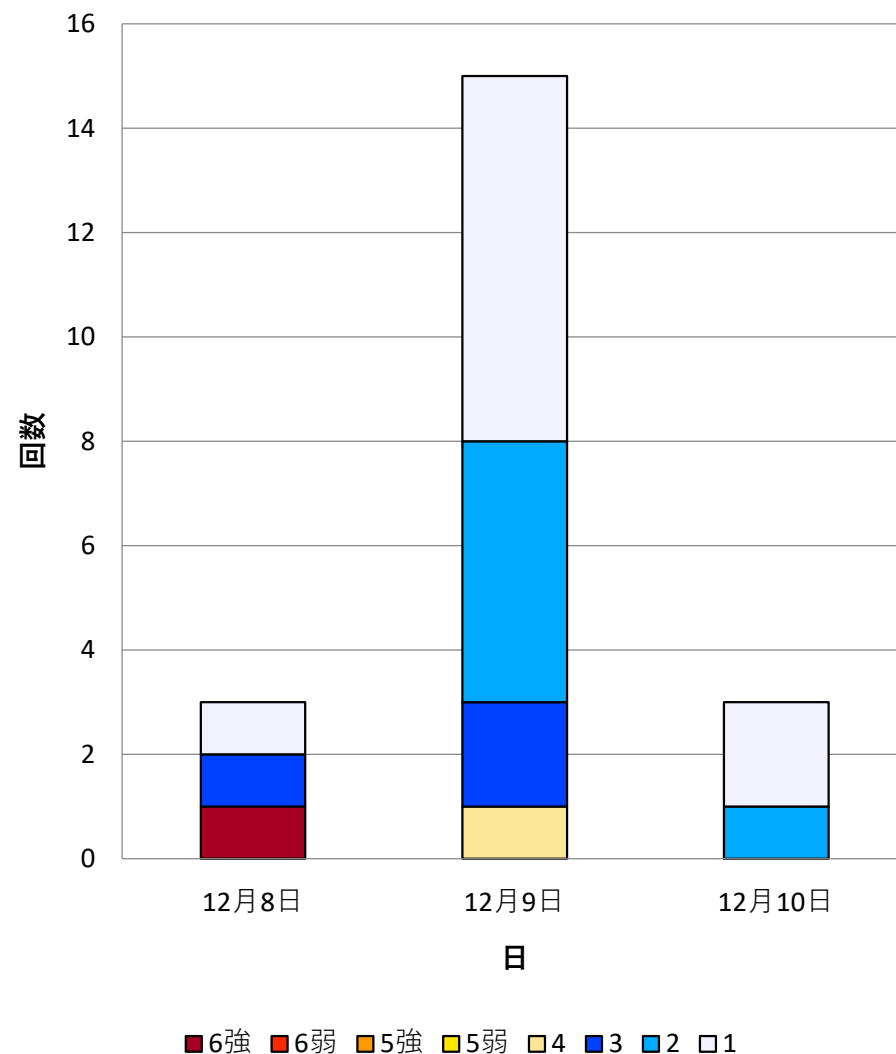
- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

震度1以上の地震の発生状況

【最大震度別・日時別地震回数表】
（12月8日23時～12月10日14時）

日別	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
12/8 23時～24時	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3	3
12/9 00時～24時	7	5	2	1	0	0	0	0	0	15	18
12/10 00時～01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
01時～02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
02時～03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
03時～04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
04時～05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
05時～06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
06時～07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
07時～08時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	20
08時～09時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	21
09時～10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
10時～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
11時～12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
12時～13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
13時～14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
総計	10	6	3	1	0	0	0	1	0		21

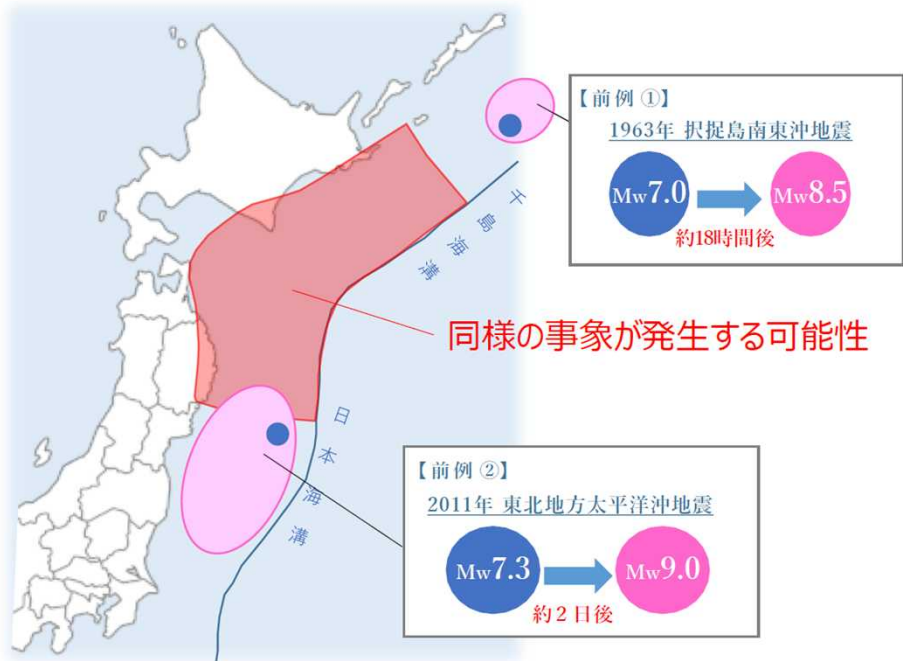
【日別地震回数図】



※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがある。

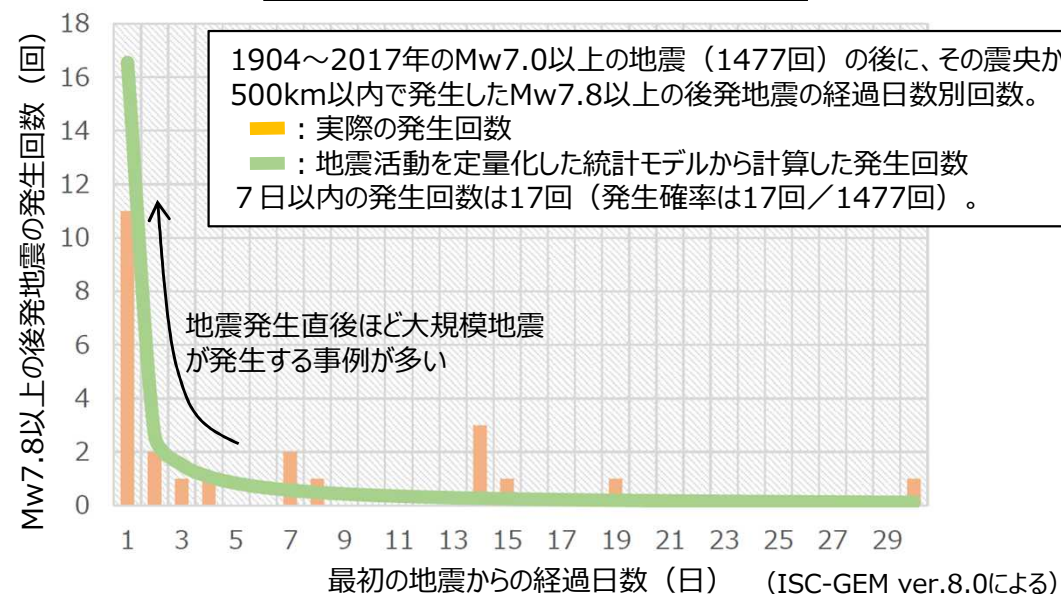
(参考) 地震が続けて発生した事例

日本海溝・千島海溝沿いの事例



- 2011年に三陸沖においてMw7.3の地震が発生した2日後にMw9.0の巨大地震（東北地方太平洋沖地震）が発生。
- 1963年に択捉島南東沖においてMw7.0の地震が発生した18時間後にMw8.5の地震が発生。

過去の世界の事例



- Mw7.0以上の地震発生後、7日以内にMw 8クラス以上（Mw7.8以上）の大規模地震が発生するのは、百回に1回程度。

○「北海道・三陸沖後発地震注意情報」では、後発地震が実際に発生する確率は低いものの、巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するために、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることをお知らせします。

○後発地震が発生する可能性は、先に発生した地震が起こった直後ほど高く、時間を経るにつれて低くなっていきますが、ゼロになるわけではありません。

(参考) 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

<北海道・三陸沖後発地震注意情報とは>

- 日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域で一定規模以上の地震が発生した場合等に、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に発表される情報
- 運用開始：令和4年12月
- これまでの発表履歴：1回

後発地震 注意情報 発表日	情報の種類	後発地震注意情報 発表のきっかけとなった現象		
		発生日	震央地名 (地震名称)	モーメント マグニ チュード
令和7年12月 9日 02時00分	北海道・三陸沖 後発地震 注意情報	令和7年 12月8日 23時15 分	青森県 東方沖	7.4

